

40歳、無所属。子どもにツケをまわさない！

県政に関するご提言から身近なご相談まで、ご意見をお寄せください！

本人 すがわら文仁

発行 菅原文仁(無所属県議会議員戸田支部)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com



「すがわらレポート」は、定期的な発行する気軽な県政報告です。

菅原文仁 プロフィール 【略歴】昭和50年7月30日生まれ(40歳) 戸田市立美谷本小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会代表 【政治歴】平成17年～23年 戸田市議会議員(2期) 平成23年 県議会議員に初当選 平成27年再選(2期目) 【所属】会派「無所属県民会議」総務会長、議会運営委員、文教委員、自然再生・循環社会対策特別委員、決算特別委員 青年地方議員の会副会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会幹事 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し 【特技】バク転 のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘(2歳)・息子(1歳)・犬1匹 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

ご挨拶

空は深く澄み渡り、爽やかな季節となりました。皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じます。

今定例会では、6月に私たちが提案をして継続審査となった、議員の「費用弁償」の支給を“定額払い”から“実費払い”に改める条例案が、単独過半数を占める自民党県議団の反対により否決されました。

この議案は最終的に私たち無所属県民会議の他、公明党、民主党、共産党、改革の会(無所属)が賛同するものとなり、まさに“あと一歩”というところまで来ていましたが、悔しくもいったん水の泡となりました。

今回の否決もそうですが、政治の場面において、「これが正しい」と思って正論を訴えても、「大なる壁」に阻まれることはたくさんあります。

私はそんなとき、マックス・ヴェーバーの「職業としての政治」を読み返します。ヴェーバーは言います。「政治とは、情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力を込めて、じわっじわっと穴をくり貫いていく作業である」と。そして、どんな事態に直面しても「それにもかかわらず！」と言い切る自信がある人間が政治への天職を持つと。

政治家という職業を志す者の一人として、改めてこの言葉をかみしめつつ、県民のために必要な提案を何度も、何度も、飽きずに懲りずに挑戦し続けてまいります。

引き続き、より身近で信頼できる県政実現のため、精一杯頑張っておりますので、皆様のご指導、ご声援をよろしくお願いいたします。

菅原文仁

すがわら文仁 最新ニュース

①台風被害に対する緊急要望！



9月9日から11日の台風17号・18号による記録的豪雨により、東日本各地で広範囲かつ甚大な浸水被害が発生し、県内においても県東南部地域を中心に大規模な被害がありました。県の災害対策を掌る岩崎副知事に対し、一刻も早い被災者の生活再建と地域の復旧対応や、排水施設の再点検、財源確保等の対策を講じるよう、緊急要望書を提出しました。

統計からみる	総人口(人)	人口増減率(増)	平均年齢(歳)	市町村所得(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(全県)	人身事故発生率(全県)
埼玉県	H27.9 7,253,362	2.2	44.5	278.5	1.3	93.5	69.6	78.6	11.7	4.6
戸田市(議会)	H27.9 134,371	1位 20.2	1位 39.7	1位 355.0	7位 1.6	14位 94.8	1位 99.0	13位 87.2	3位 16.4	11位 5.5

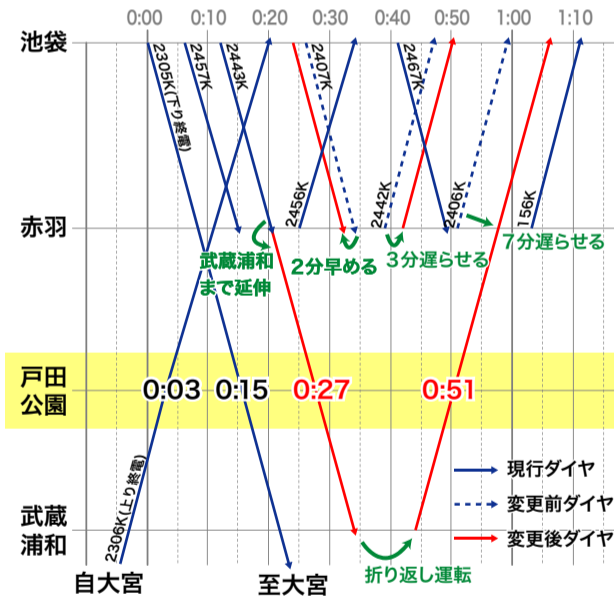
※総人口以外は「統計からみた埼玉県市町村のすがた2015」より引用

②埼京線の利便性向上(菅原私案)をJR東日本大宮支社に提案！

今年9月30日で開業30周年を迎えた埼京線は、戸田市の発展を支えてきた半面、終電時間延長や混雑緩和といった課題があり、これまでも数多くの諸先輩方が利便性向上に向けて取り組んできました。もちろん私も地元の最重要事項として、県議に初当選してからも毎年、知事に対して要望を行い、知事からJRの要望などに繋げてまいりました。結果として、今年度からデータタイムにおける各駅停車の増発などが実現し、一定程度の成果はありましたが、赤羽～大宮間の「終電時間の繰り下げ」については、残念ながらこれまで一度として実現しておりません。JR東日本は、これまで終電延長ができない理由を、保守点検作業を行う時間の確保や、車両の乗務員の体制の見直しが必要と説明してきました。

「終電を繰り下げしてほしい」と毎年毎年要望していくことは大切です。しかし私は、これまで一歩どころか半歩も動かなかった現実から、もっと具体的で検討に値する提案をすべきではないかと思い、この度10月1日に、JR東日本大宮支社総務部企画室に対して、これまでとは異なる具体的提案「菅原私案」を提出させていただきました。

＜菅原私案の概要＞



現在の終電以降の赤羽～池袋間4往復の列車の内、2443Kを武蔵浦和まで延伸運転し、折り返すもの。これにより終電時間は下り12分、上り48分程度の繰り下げが可能となります。

この案は、新たに車両を増やさず、乗務員の体制も最小限度の変更で済むという、終電を延長させる上で最も実現可能性が高い方法といえます。

現在はこの私案に対する応答を待っているところですが、開業30周年を迎えた今年こそが、大幅なダイヤ改善の契機になるのではないかと期待しています。

当然ですが、鉄道ダイヤは事業者が決定するものであり、県はもちろん国でさえ、ダイヤに対する権限を持っておらず、できることは「要望」のみです。しかし、埼京線の利便性向上は、利用者のニーズであり、埼京線沿線の住民全体の生活に関わる重大な政治課題で、決して荒唐無稽のものではありません。粘り強く訴え続ければ、必ずや終電延長は実現するものと私は確信しています。

本人の活動写真



8月2日(さいたま市) 清水さいたま市長と知事選挙の応援弁士としてマイクを握り締める！



8月22日(市内) 自治会の夏祭りにてご挨拶！



8月26日(福岡市) 九州大学にて学校管理職マネジメントを学ぶ！



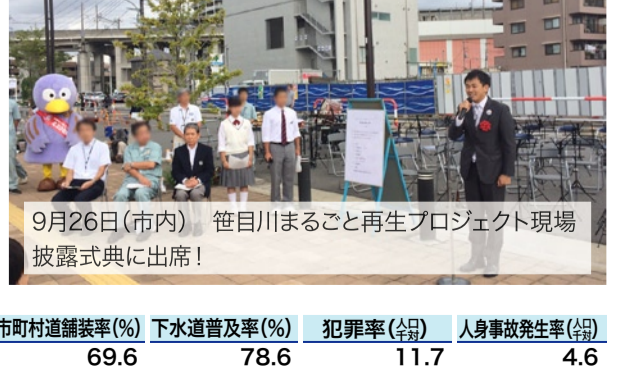
9月1日(市内) 議会報告も定期的につづけます！



9月4日(幸手市) 会派で県が造成する産業団地の現地視察！



9月14日(常総市) 災害ボランティアとして被災地に！



9月26日(市内) 笹目川まるごと再生プロジェクト現場披露式典に出席！

